

2019 年版 アスパラガス雑草防除基準・除草剤使用基準

1. 雑草防除基準

散布時期	処理法	薬剤名及び 10a 当り使用量	摘 要
萌 芽 前	全面散布	ロロックス 150～200g またはゴーゴーサン乳剤 200～400mℓ またはゴーゴーサン細粒剤 F 4～6 kg	ゴーゴーサン細粒剤 F 以外は、水 100ℓにいて土壤水分が中庸な時に散布する。また、雑草が既に生えている場合は、水 100ℓ当りザクサ液剤 300～500 mℓ（収穫前日、2 回以内）またはブリグロックス L を 1000mℓ（収穫前日、3 回以内）の割合で使用する。（展着剤は不要、収穫打切後散布は畦間処理、アスパラガスにはかけないこと） センコル水和剤を使用する場合は、薬害回避のために降雨前に散布しない。
収穫打切後	全面散布	トレファノサイド乳剤 200～300mℓ または センコル水和剤 100～150 g	
	畝間散布	ロロックス 150～200 g	使用回数は全面散布で 1 回、畝間散布で 1 回以内まで。 散布回数に注意。
10 月下旬	畦間処理	水 100～150 ℓに ザクサ液剤 300～500mℓ（収穫前日）	
特別散布 スギナ対策 （収穫終了後）	畦間処理	水 25～50ℓにタッチダウン iQ またはラウンドアップマックスロードを 1, 500～2, 000 mℓの割合で使用する。	アスパラガスにはかけないこと。

2. 野ソ対策

	散布量（10 a 当り）	農薬使用量	時 期
①殺そ剤			
ヤソヂオン	200～300 g	そ穴へ投入、5 g 小袋 40～60 袋	春の雪融け後、秋の根雪前が重点防除時期となる。
ラテミンリン化亜鉛 1 %	60～120 g	そ穴へ投入、2 g 小袋 30～60 袋	

②パチンコ（ラットキラー・板パッチン）を継続して仕掛ける。 ③石灰窒素（防散）10a 当り 60～100kg を茎葉刈取後、根雪前の露のある早朝に散布する。（除草兼用）

3. ナメクジ対策

品名	使用量・使用方法
スラゴ	10 アール当り 1～5kg、1 m ² 当り 1～5g を株元の土壤表面に散布する。

4. 除草剤使用基準

薬剤名	適用雑草名	10 a 当り使用量	使用時期	使用回数
クロロ I P C	1 年生雑草	水 70～100ℓ 250～300mℓ	培土後雑草発生前、但し収穫 21 日前	1 回
センコル水和剤	畑地 1 年生雑草	水 100ℓ 100～150 g	萌芽前～萌芽始期・収穫打切後（雑草発生前～4、5 葉期）	1 回
トレファノサイド乳剤	1 年生雑草（ツクサ・キク・カヅリグサ・アザミ科を除く）	水 100ℓ 200～300mℓ	萌芽前・収穫打切後（雑草発生前）	1 回
ザクサ液剤	1 年生雑草	水 100～150ℓ 300～500mℓ	雑草生育期（萌芽前または畦間処理）・収穫前日	2 回以内
ブリグロックス L 毒	1 年生雑草	水 100～150ℓ 600～1, 000mℓ	雑草生育期（畦間処理）但し収穫前日	3 回以内
	スギナ	水 100～150ℓ 1, 000～2, 000 mℓ		
ロロックス	1 年生雑草	水 70～150ℓ 150～200g	萌芽前（雑草発生前～発生始期）（全面散布）	萌芽前の全面散布 1 回 打ち切り後畦間散布 1 回
	1 年生雑草	水 100～150ℓ 150～200g	萌芽始期但し、収穫前日まで （全面散布） （雑草発生前～発生始期）	
	1 年生広葉雑草	水 100ℓ 150～200g	生育期但し、収穫前日まで （畦間・株間処理）	
タッチダウン iQ	スギナ	水 25～50ℓ 1, 500～ 2, 000mℓ	雑草生育期（畦間処理）、但し収穫前日	3 回以内
	1 年生雑草	水 25～50ℓ 250～500mℓ	耕起 7 日以前まで（雑草生育期：草丈 30 cm 以下）	
ゴーゴーサン乳剤 30	1 年生雑草	水 70～150ℓ 200～400 mℓ	萌芽前（雑草発生前）	合わせて 1 回
ゴーゴーサン細粒剤 F		4～6 kg		
ラウンドアップマックスロード	1 年生雑草	水 25～50ℓ 200～500mℓ	雑草生育期（畦間処理）・収穫前日または耕起前	2 回以内 （耕起前は 1 回）
	スギナ	水 25～50ℓ 1, 500～ 2, 000mℓ	雑草生育期（畦間処理）・収穫前日	

当防除暦の複製・コピーの禁止